

実力完成講座 OPUSシリーズ

講座の内容

全10回
60分から90分

工藤講師からの
Message

社労士受験生のありがちな学習法として、テキストの前から学習し、高額療養費など苦手な項目で学習が止まり、また、目的条文からやり直し…ということを繰り返してしまいます。数字も暗記や語呂合わせに頼ってしまい、改正の都度、語呂合わせを考える…という学習では大変です。それを解決するのが、実力完成講座“OPUS(オーパス)シリーズ”です。受験生が苦手とする項目をピックアップし、紙媒体のテキストでは表現できない動きを“アニメーション”で講義を行い難解な項目を視覚でイメージさせ、理解・定着できる講義となります。

OPUSシリーズでは、テキストと映像の行ったり来たりのありがちな講義ではなく、動画そのものがテキストと講義と一元化し、ハンズフリーで受講できます。また、学習が進んでくると、なぜ?こうなのか…と疑問が出てきます。そのなぜ?がすっきりしないと前に進めない!という方はOPUSシリーズでスッキリ解消!なぜこうなっているのか?ロジックを徹底的に講義します。

工藤 寿年
—社労士専門講師—
Hisatoshi Kudo



実力完成講座OPUSシリーズの“疑問”にお答えします!

こんな人におすすめ!

- ✓ 今まで暗記ばかりの勉強だった
- ✓ 何故そうなるのか? ロジックで理解したい

社労士試験の範囲は膨大です!これまでの学習でいいのか?今までのとは違う学習法で合格を目指したい!という方はOPUSシリーズで一步差をつける知識を定着いただけます!

Q. 講義を受講する
タイミングは…?

A. 項目ごとに深掘りするOPUSシリーズ!
配信スケジュールに合わせて受講!



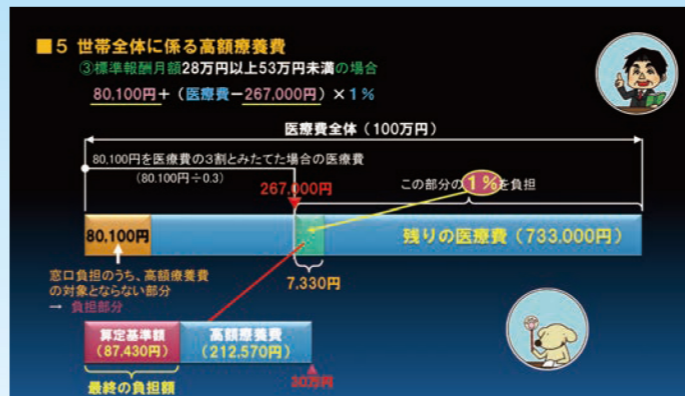
定期的に講義が配信されますので、通常の講義スケジュールにプラスしてご受講いただけます。Allアニメーション講義のためスキマ時間の学習にも最適!スマホを利用して通勤の合間でも受講できます。通常の講義の復習として、受講いただくのも効果的◎。

作品一覧

#	作品番号	法律	作品名
#1	労働基準法・労働組合法		これで納得!労働協約と労使協定の違い
#2	健康保険法		医療費負担の原理・原則で紐解く!高額療養費
#3	労働保険徴収法		労働保険料の延納の完全理解!
#4	年金法		水上から水下へ加給年金と振替加算
#5	年金法		配偶者に影響大!老齢年金の繰上げ繰下げ
#6	年金法		直伝!障害年金の調整規定の奥義
#7	年金法		対比で理解!死亡に関する独自給付のツボ
#8	社会保険一般常識		働き方・雇用形態によって異なる!児童手当の財源整理
#9	横断		頻出・重要!産前産後・育児に関する法令の整理
#10	統計		今、押さえるべき!重要統計“数値の基本”

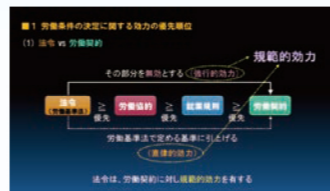
工藤講師のロジックで理解すべき 知識を整理したい!掘り下げたい!方へ

ベスト10



#2 医療費負担の原理・原則で紐解く! 高額療養費

高額療養費の計算は難しくはない!
要は、我が国の医療費負担の原理・原則を踏まえた高額療養費制度のイメージが浮かんでいるかどうか?である。制度設計を理解し、本試験での計算問題対策を講じよう!



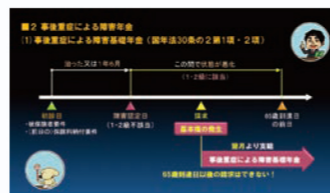
#1 これで納得! 労働協約と労使協定の違い

労働協約の持つ規範的効力と労使協定の持つ免罰的効力との違いを理解しよう!



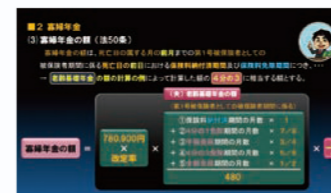
#3 労働保険料の延納の完全理解

延納の種類はいくつかあるが、基本事項は共通!延納のコツをつかみ、得点源にしよう!



#6 直伝! 障害年金の調整規定の奥義

一見、難解な障害年金の調整規定は、技術的な処理である!各規定の趣旨(奥義)を理解すれば、得点源となること間違いなし!



#7 対比で理解! 死亡に関する独自給付のツボ

死亡に関する独自給付は頻出事項!法の趣旨を理解していないとケアレスミス誘発する。寡婦年金と死亡一時金の給付趣旨を正確に理解し、確実に得点できるように仕上げていこう!

■2 社会保障統計関係
(1)重要社会保障統計の種類と目的
2022年度社会保障費用の概要 (国立社会保障・人口問題研究所)

	社会支出(OECD基準)	社会保障給付費(ILO基準)
総額	142兆3,215億円	137兆8,337億円
対前年度増加額	6,663億円 (0.5%の減少)	9,169億円 (0.7%の減少)
GDP比	25.12% (0.70%ポイント減少)	24.33% (0.73%ポイント減少)
1人当たり	113万9,100円 (前年度に比べ300円、0.03%の減少)	110万3,100円 (前年度に比べ2,400円、0.2%の減少)
政策分野別・部門別	(政策分野別)	(部門別)
	①「保健」81兆9,775億円 (43.5%) ②「高齢」48兆9,733億円 (34.4%) ③「家族」11兆2,086億円 (7.9%)	①「年金」55兆7,908億円 (40.5%) ①「医療」48兆7,511億円 (35.4%) ③「福祉その他」33兆2,916億円 (24.2%)

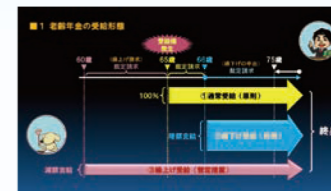
#10 今、押さえるべき! 重要統計“数値の基本”

各種重要統計の攻略は一日にしてならず!
正確でなくとも、まずは、近年の傾向からみた“基本となる数値”を押さえよう!



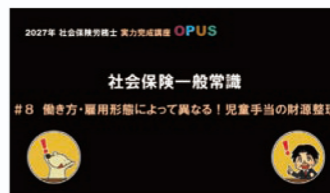
#4 水上から水下へ 加給年金と振替加算

難解な振替加算(国民年金)は、いわばその原資である加給年金額(厚生年金保険)との関係を意識しながら一連の流れで押さえることが大事である!



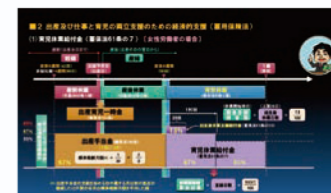
#5 配偶者に影響大! 老齢年金の繰上げ繰下げ

老齢年金の繰上げ請求・繰下げの申出規定は、国民年金法を基準に理解し、厚生年金保険は、その応用!イメージさえ描ければ難しくはない!



#8 働き方・雇用形態によって異なる! 児童手当の財源整理

児童手当の国庫負担を闇雲に暗記しようとしても定着しません。監護者の働き方・雇用形態によって異なる財源構成の違いを整理し、受験生の苦手意識を一気に払拭します。



#9 頻出・重要! 産前産後・育児に関する法令の整理

産前産後の女性労働者に関する保護規定は、本試験において頻出事項である。今回は、「産前産後」をキーワードにピックアップしてみよう!